

予算				決算書	
款	項	目		330	頁
11	2	1			

目名	
道路橋梁災害復旧費	

事業名称	
道路橋梁災害復旧事業	

1. 概要

目的	道路及び橋梁災害の復旧		対象	市民
事業概要	<p>○補助災害復旧事業・・・27件(うち4件契約繰越)</p> <p>○単独災害復旧事業・・・8件(うち2件未契約繰越)、崩土除去等→104件</p> <p>○道路橋梁災害復旧事務費・・・道路橋梁災害復旧事業に係る事務費</p>			

臨／経	細事業名称	事業内容（主な経費等）		予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財源内訳				評価
						国・県支出金	市債	その他	一般	
臨時	補助災害復旧事業	道路橋梁災害復旧	工事請負費	112,220	61,389	38,036	17,860		5,493	3
臨時	単独災害復旧事業	道路災害復旧	委託料	22,915	20,778				20,778	3
臨時	道路橋梁災害復旧事務費	消耗品費等	需用費	1,083	867				867	3
計				136,218	83,034	38,036	17,860	0	27,138	

2. 指標設定

成果指標	指標名	道路及び橋梁災害の復旧		目標年度	指標の設定理由			
	数値	—			台風等により被災した道路及び橋梁の早期復旧のため			
活動指標	指標	a	復旧率	b	c		d	
	数値	目標	100%	目標	目標		目標	

3. 実績（上段・実績／下段・達成率）

成果指標名	単位	H22	H23	H24
道路及び橋梁災害の復旧		—	—	—
		—	—	—

活動指標名	単位	H22	H23	H24
a 復旧率	%	100.0 %	100.0 %	67.5 %
		100.0 %	100.0 %	67.5 %
b		—	—	—
		—	—	—
c		—	—	—
		—	—	—
d		—	—	—
		—	—	—

4. 課題と対応

課題
特になし
対応（改善点等）

5. 事業費・・・H22～H24（決算額）、H25（予算現額）

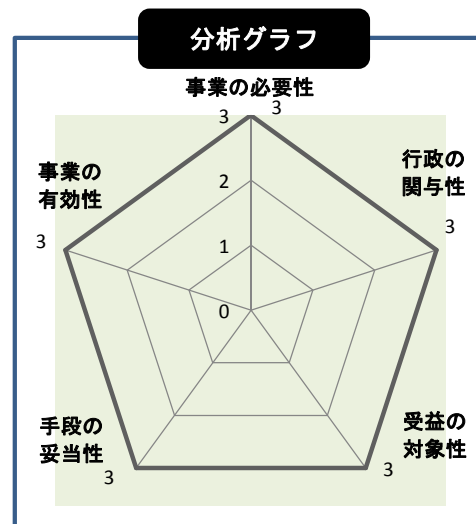
決算額（千円）		H22	H23	H24	H25
		39,047	58,064	83,034	62,141
うち経常経費		1,405			
財源内訳	国費	22,292	22,562	38,036	33,350
	県費				
	市債	9,800	11,200	17,860	16,600
	その他				
	一般財源	6,955	24,302	27,138	12,191
うち経常		1,405			
事業費に係る人件費		13,314	14,018	10,391	11,856
事業費に係る人役		3.04	3.26	2.42	2.72

6. H26年度予算の方向性

方向性
前年並
理由
気象状況により災害発生の予測が不可能である

7. 担当課による分析

着眼点	分析	分析根拠
① 事業の必要性	必要性の再確認	3 市道の災害復旧である
② 行政の関与性	責任領域の精査	3 市道の災害復旧である
③ 受益の対象性	事業対象の確認	3 市民が利用する市道の復旧である
④ 手段の妥当性	活動指標の分析	3 適切な手段である
⑤ 事業の有効性	成果指標の判断	3 成果が上がっている



8. 内部評価委員会評価（委員会評価）

事業の方向性	評価内容
継続	早期対応による復旧を目指すこと。